

環境因子		判断のチェックポイント	促進因子 (+) または阻害因子 (-) の程度		
自然環境と人間がもたらした環境変化	e215	人口・住民	居住・生活環境は人口密集地か、疎らな地域か。そうした地域性が、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e220	植物相と動物相	居住・生活環境は林・野原・田畑など植物の多い地域か、また野生動物がみられる地域か。そうした自然環境が、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e225	気候	気温・湿度・降水量・積雪量・風・四季の変化などが、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e230	自然災害	居住・生活環境周辺の火山の噴火、台風、地震などの自然災害が、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e235	人的災害	居住・生活環境周辺に廃液・廃棄物などの環境問題がないか。ある場合、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e240	光	日中の居住・生活環境は日光が当たるかどうか。そうした環境が活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e245	時間的变化	居住・生活環境から十分なスペースの空・月・星が見られるかどうか。そうした環境が活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e250	音	鳥や犬の鳴き声、隣室・隣家の人声、音楽などが、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9

環境因子		判断のチェックポイント	促進因子 (+) または阻害因子 (-) の程度
もたらした環境変化	e255	振動	自動車・工場などによる振動が、活動と参加にどのように影響しているか。 +・- 0 1 2 3 4 8 9
	e260	空気の質	屋外・屋内の空気の質が、活動と参加にどのように影響しているか。 +・- 0 1 2 3 4 8 9
支援と関係 (人間や動物そのものではなく、心情的な支援の分量をいう。提供される身体的あるいは)	e310	家族	両親・兄弟姉妹・子ども・祖父母・里親・養父母の存在が、活動と参加にどのように影響しているか。 +・- 0 1 2 3 4 8 9
	e315	親族	伯(叔)父・伯(叔)母・甥・姪の存在が、活動と参加にどのように影響しているかどうか。 +・- 0 1 2 3 4 8 9
	e320	友人	昔からの親友の存在が、活動と参加にどのように影響しているかどうか。 +・- 0 1 2 3 4 8 9
	e325	知人・仲間・同僚・隣人・コミュニティの成員	同じ施設の仲間、地域の知人・隣人などの存在が、活動と参加にどのように影響しているかどうか。 +・- 0 1 2 3 4 8 9
	e330	権限を持つ立場にある人々	後見人(保佐人など)、雇用主、施設長などの存在が、活動と参加にどのように影響しているか。 +・- 0 1 2 3 4 8 9
	e340	対人サービス提供者	入所(通所)施設の職員、世話人、ヘルパー、ボランティアなどの存在が、活動と参加にどのように影響しているかどうか。 +・- 0 1 2 3 4 8 9

環境因子		判断のチェックポイント	促進因子（+）または阻害因子（-）の程度	
支援と関係する身体的あるいは心情的なものではない（人間や動物の支援の分量をいう。提供され	e345	よく知らない人	地域住民、見学者、セールスマンの存在が、活動と参加にどのように影響しているかどうか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9
	e350	家畜・家禽など	ペットや家畜の存在が、活動と参加にどのように影響しているか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9
	e355	保健の専門職	医師・歯科医・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・義肢装具士・臨床心理士などの存在が、活動と参加にどのように影響しているか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9
	e360	その他の専門職	弁護士・ソーシャルワーカー・社会福祉士・介護福祉士などの存在が、活動と参加にどのように影響しているか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9
態 度	e410	家族の態度	家族は本人のことをどのように考えているのかなど、家族の態度が活動と参加にどのように影響しているか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9
	e415	親族の態度	親族は本人のことをどのように考えているのかなど、親族の態度が活動と参加にどのように影響しているか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9
	e420	友人の態度	友人は本人のことをどのように考えているのかなど、友人の態度が活動と参加にどのように影響しているか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9
	e425	知人・仲間・同僚・隣人・コミュニティの成員の態度	同じ施設の仲間・地域の知人・隣人などは、本人のことをどのように考えているのかなど、彼らの態度が活動と参加にどのように影響しているか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9

環境因子		判断のチェックポイント	促進因子（+）または阻害因子（-）の程度	
態 度	e430	権限を持つ立場にある人々の態度	後見人（保佐人など）、雇用主、施設長が本人のことをどのように考えているのかなど、彼らの態度が活動と参加にどのように影響しているか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9
	e440	対人サービス提供者の態度	入所（通所）施設の職員・世話人・ヘルパー・ボランティアは、本人のことをどのように考えているのかなど、彼らの態度が活動と参加にどのように影響しているか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9
	e445	よく知らない人の態度	見学者、セールスマン、地域住民は、本人のことをどのように考えているのかなど、彼らの態度が活動と参加にどのように影響しているか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9
	e450	保健の専門職者の態度	医師・歯科医・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・義肢装具士・臨床心理士は、本人のことをどのように考えているのかなど、彼らの態度が活動と参加にどのように影響しているか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9
	e455	その他の専門職者の態度	弁護士・ソーシャルワーカー・社会福祉士・介護福祉士は、本人のことをどのように考えているのかなど、彼らの態度が活動と参加にどのように影響しているか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9
	e460	社会的態度	文化的なサークル、社会問題などに関するグループに所属しているかどうかなど、本人の社会的態度が活動と参加にどのように影響しているか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9
	e465	社会的規範・慣行・イデオロギー	政治色のあるグループや宗教的色合いの濃い団体に属していないかなど、そうした面が活動と参加にどのように影響しているか。	+・- 0 1 2 3 4 8 9

環境因子		判断のチェックポイント	促進因子(+)または阻害因子(-)の程度		
サービス・制度・政策	e515	建築・建設に関連するサービス・制度・政策	ハートビル法に基づいて公共的性格を有する建築物が、バリアフリーの方向に指導・誘導されていることについて、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e530	公共事業サービス・制度・政策	電気・ガス・水道・下水道・ゴミの収集などの公共事業が、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e535	コミュニケーションサービス・制度・政策	郵便・電話・電子メール・宅配便が、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e540	交通サービス・制度・政策	ノンステップバスの導入、駅舎にエレベーター・エスカレーター・リフトの設置、乗り物内に車椅子スペースの確保、音響信号機の設置などが、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e545	市民保護サービス・制度・政策	急病時の患者搬送に消防署の救急車を利用、行方不明者の捜索で警察に応援依頼などが、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e550	司法サービス・制度・政策	成年後見制度、法の欠格条項の見直しなどが、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e555	団体と組織に関するサービス・制度・政策	障害者・家族の団体、社会福祉支援団体の機関誌などの情報サービスが、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9

環境因子		判断のチェックポイント	促進因子 (+) または阻害因子 (-) の程度		
サービス・制度・政策	e560	メディアサービス・制度・政策	新聞の配達、テレビ・ラジオの報道、文字や手話による放送などが、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e570	社会保障サービス・制度・政策	支援費制度、国民年金制度、生活保護制度、障害基礎年金制度、特別障害者手当など。福祉事務所の存在。所得税・住民税・相続税の障害者控除。各種公共料金の減免措置などが、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e575	一般的な社会的支援サービス・制度・政策	療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の制度、身体障害者更生相談所・知的障害者更生相談所・児童相談所・精神保健福祉センターの存在、地域福祉権利擁護事業などが、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e580	保健サービス・制度・政策	母子健康手帳の制度、老人保健法による医療・保健事業の制度、介護保険制度、保健所が実施する保健サービスなどが、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e585	教育と訓練のサービス・制度・政策	特別支援学級・盲学校・聾学校・養護学校の存在、通級の制度、高等教育などが、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e590	雇用と労働のサービス・制度・政策	公共職業安定所・障害者職業センター・障害者雇用支援センターの存在、障害者雇用率制度などが、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9
	e595	政治的サービス・制度・政策	出身地の都道府県・市町村の首長の障害者に対する政治姿勢、居住地の都道府県・市町村の首長の障害者に対する政治姿勢などが、活動と参加にどのように影響しているか。	+・-	0 1 2 3 4 8 9

<b>評価点のつけ方</b>		<p>「心身機能」の評価は、機能障害の程度や大きさを表します。</p> <p>0：機能障害なし（存在しない、無視できる機能障害）  1：軽度の機能障害（わずかな、低度の機能障害）  2：中等度の機能障害（中程度の、かなりの機能障害）  3：重度の機能障害（高度の、極度の機能障害）  4：完全な機能障害（全くの機能障害）</p> <p>8：詳細不明  9：非該当</p> <p>当てはまる数字に○をつけてください。</p>		
<b>心身機能 78項目</b>		判断のチェックポイント	評価点	
<b>精神機能</b>	b110	意識機能	呼びかけにきちんと反応して周囲への意識が清明であるか、意識レベルが変動することはないかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b114	見当識機能	年月日・曜日、自分がいる場所や周囲の状況、自分が誰であるか、身近の他者が誰であるかを理解しているかどうか	0 1 2 3 4 8 9
	b117	知的機能	成人に達するまでに知的機能に発達遅滞がみられたかどうか、または成人後に痴呆症状が現れたかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b122	全般的な心理社会的機能	例えば、集団生活の中で周囲の仲間・同僚と言葉を交わさず、話しかけても視線を合わさず、交流を深めようとしないう傾向があるかどうか。（自閉症を含む）	0 1 2 3 4 8 9
	b126	気質と人格の機能	外向的か内向的か、協調性・誠実性・信頼性があるか、かっとすることはないか、楽観的か悲観的か、臆病か大胆かなど、個人の生来の素質に関係する精神機能がみられるかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b130	活力と欲動の機能	何かをしようとする意欲・行動力があるか、食欲・物欲があるか、また衝動を抑えることができるか。	0 1 2 3 4 8 9
	b134	睡眠機能	毎日十分な睡眠がとれているか、寝つきがよいか、夜中に何度も目を覚めることはないか。	0 1 2 3 4 8 9
	b140	注意機能	物事に集中できるか、注意を移すことができるか、同時に二つ以上のことに意を注ぐことができるか。	0 1 2 3 4 8 9

心身機能		判断のチェックポイント	評価点
精神機能	b144	記憶機能	ちょっとまえのこと・昔のことを覚えているか、または思い出すことができるか。 0 1 2 3 4 8 9
	b147	精神運動機能	動作や会話が遅くなったり、しぐさや自発性が減ったりすることはないか、また反対に足で床を叩くとか手を揉むとか、非生産的な行動が過剰になって落ち着きがなくなることはないか。 0 1 2 3 4 8 9
	b152	情動機能	喜怒哀楽の表現・程度が適切な範囲で極端でないか。 0 1 2 3 4 8 9
	b156	知覚機能	音・ものの大きさや形・におい・味の識別、ものを触れたときの感じ方、自分の位置に関する空間的な識別など。 0 1 2 3 4 8 9
	b160	思考機能	思考に時間がかかりすぎないか、論理が首尾一貫しているか、妄想的でないか、強迫的で抑制されていないか。 0 1 2 3 4 8 9
	b164	高次認知機能	ものごとを抽象化したり、体系化したり、時間に沿って考えたり、計画を立てたりすることができるか。また、自分のやっていることを洞察したり、ものごとを判断しながら解決の方向へ道筋をつくることができるか。 0 1 2 3 4 8 9
	b167	言語に関する精神機能	話し言葉・書き言葉・手話などのメッセージを理解したり、自分で意味のあるメッセージを作ったりできるか。 0 1 2 3 4 8 9
	b172	計算機能	たし算・引き算・かけ算・割り算ができるか。また、言葉による問題を計算式に変えることや複雑な計算ができるか。 0 1 2 3 4 8 9
	b176	複雑な運動を順序立てて行う精神機能	複雑で目的をもった運動の順序付け・協調がうまくできるかどうか。(例えば、運動麻痺・知覚障害はないのにマッチで火をつける動作ができない、人のまねができない、股をきちんと着れないなど) 0 1 2 3 4 8 9
b180	自己と時間の経験の機能	あたかも自分が外部の傍観者であるかのように、または夢の中にいるかのように感じたり、切断された手足が存在するように感じたり、見たことがないのに見たような気がする、などがどうか。 0 1 2 3 4 8 9	



心身機能		判断のチェックポイント	評価点
感覚機能と痛み	b210	視覚機能	光を感じてものの色・大きさ・形が見えるかどうか。 0 1 2 3 4 8 9
	b215	目に属する構造の機能	危険なものが近づくと目をつぶる、動くものを目で追いかける、涙を流す、などができるかどうか。 0 1 2 3 4 8 9
	b220	目・付属構造関連の感覚	目の疲労感・異物感・灼熱感・奥の圧感・かゆみなどの感覚（痛みを除く）を感じるかどうか。 0 1 2 3 4 8 9
	b230	聴覚機能	音を感じ、識別し、音源・方向を定め、話し言葉かどうかを区別できるかどうか。 0 1 2 3 4 8 9
	b235	前庭機能	身体の位置を直す、バランスをとる、動く方向に合わせる、などができるかどうか。 0 1 2 3 4 8 9
	b240	聴覚・前庭機能関連の感覚	耳鳴り・めまい・回転性めまいに伴う嘔気・転びそうな感覚・耳内のかゆみ・耳がつーンとする感じ、などがないかどうか。 0 1 2 3 4 8 9
	b250	味覚	苦味・甘味・酸味・塩味を感じるができるかどうか。 0 1 2 3 4 8 9
	b255	嗅覚	香りや臭いを感じるができるかどうか。 0 1 2 3 4 8 9
	b260	固有受容覚	手すりのない下りの階段を転ばずに降りれるかどうか。椅子にきちんと座れるかどうか。 0 1 2 3 4 8 9
	b265	触覚	ものに触れてその性状や質感を感じとれるかどうか。（障害の例：触覚脱失、触覚過敏） 0 1 2 3 4 8 9
b270	温度刺激等関連感覚機能	熱さ・冷たさ・振動・皮膚への圧迫・不快な感覚を感じとれるかどうか。 0 1 2 3 4 8 9	

心身機能		判断のチェックポイント	評価点
	b280 痛みの感覚	身体各部の痛み刺激を感じとれるかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
音声と発話の機能	b310 音声機能	喉頭を通る空気によって種々の音を発生させることができるかどうか。(障害の例: 閉鼻声、閉鼻声、嚔声、荒れ声)	0 1 2 3 4 8 9
	b320 構音機能	話し言葉の音声を発生させることができるかどうか。(障害の例: 痙性・失調性・弛緩性構音障害、構音不能症)	0 1 2 3 4 8 9
	b330 音声言語の流暢さとリズム	話し言葉に流れ・速さ・リズムがあり、声の高さが調節できるかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b340 言語以外の発声機能	歌を唱ったり、ハミングしたり、泣き叫んだりして音声を発生させることができるかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
心血管系・血液系・免疫系・呼吸器系の機能	b410 心機能	心拍数・リズム・心拍出量・心電図などが正常かどうか(障害例: 頻脈、徐脈、不整脈)	0 1 2 3 4 8 9
	b415 血管の機能	動脈や静脈に異常がないかどうか。(障害例: 動脈硬化、間歇性跛行の動脈狭窄、静脈瘤)	0 1 2 3 4 8 9
	b420 血圧の機能	血圧が正常範囲内にあるかどうか。(障害例: 高血圧、低血圧、起立性低血圧)	0 1 2 3 4 8 9
	b430 血液系の機能	赤血球・白血球・ヘモグロビン・血小板・凝固系が正常かどうか。(障害例: 貧血、血友病)	0 1 2 3 4 8 9
	b435 免疫系の機能	ツベルクリン反応はプラスか、薬物・食物・花粉などにアレルギーがないかどうか。	0 1 2 3 4 8 9

心身機能		判断のチェックポイント	評価点	
心血管系・血液系・免疫系・呼吸器系の機能	b440	呼吸機能	呼吸数・呼吸のリズム・深さが正常かどうか。（障害例：不規則な呼吸、過呼吸、肺気腫など）	0 1 2 3 4 8 9
	b445	呼吸筋の機能	呼吸の際に胸郭・横隔膜を動かしているかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b450	その他の呼吸機能	咳・くしゃみ・あくびをすることがあるかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b455	運動耐容能	少しの運動で息切れしないか、疲れやすすくないか、またスタミナがあるかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b460	心血管・呼吸器系関連の感覚	脈の脱落、動悸、息切れがないかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
消化器系・代謝系・内分泌系の機能	b510	摂食機能	固形物や液体を口から取り入れ、唾液を分泌して咀嚼し、きちんと嚥下できるかどうか。（嚥下障害）	0 1 2 3 4 8 9
	b515	消化機能	食後におくび・胸焼け・腹部膨満感がないかどうか、また腹痛・下痢を繰り返すことがないかどうか。（障害の例：胃酸過多、消化不良など）	0 1 2 3 4 8 9
	b525	排便機能	排便が毎日きちんと同じようにあるかどうか。（障害の例：便秘、下痢、便失禁など）	0 1 2 3 4 8 9
	b530	体重維持機能	適正な体容量指数（BMI）が維持されているかどうか。（障害の例：低体重、やせ・肥満など）	0 1 2 3 4 8 9
	b535	消化器系関連の感覚	吐き気・腹部の膨満感・きりきりした痛みなどがないかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b540	全般的代謝機能	食欲が旺盛な割に体重が増えない、汗をよくかく、などがなくどうか。（障害の例：甲状腺機能亢進症または甲状腺機能低下症、糖尿病、高脂血症、などがなくどうか）	0 1 2 3 4 8 9

心身機能		判断のチェックポイント	評価点
消化器系・代謝系・内分泌系の機能	b545	水分・ミネラル・電解質調節機能 しきりに水を飲みたがる、もしくは排尿の量が多いということがないかどうか。 (障害の例：脱水、電解質の異常など)	0 1 2 3 4 8 9
	b550	体温調節機能 平熱が36.0度C以下、または37.0度C以上のことがないかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b555	内分泌腺機能 食欲・体重・尿量・皮膚の色・発毛・精神神経症状などに変化が生じていないかどうか。 (障害の例：甲状腺・副甲状腺・副腎皮質の機能亢進または機能低下など)	0 1 2 3 4 8 9
尿路・性・生殖の機能	b610	尿排泄機能 尿量・回数に異常がないかどうか。 (障害の例：腎不全、乏尿など)	0 1 2 3 4 8 9
	b620	排尿機能 失禁がないかどうか。 (障害の例：尿失禁、尿閉など)	0 1 2 3 4 8 9
	b630	尿機能関連の感覚 排尿時に灼熱感・切迫感を感じることはないかどうか。 (痛みは除く)	0 1 2 3 4 8 9
	b640	性機能 性的関心や興奮、性行動(マスターベーション等)がみられるかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b650	月経の機能 閉経していない場合、月経が規則的にあるかどうか、間隔・量が一定しているかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b660	生殖機能 子どもをもうけたことがあったか、もしくは妊娠の経験があったかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b670	性・生殖機能に関連した感覚 月経困難症があるかどうか。閉経に関連した不快感があるかどうか。	0 1 2 3 4 8 9

心身機能		判断のチェックポイント	評価点	
神経筋骨格と運動に関する機能	b710	関節の可動性の機能	関節のなかに動かしにくいもの、または部分があるかどうか。(障害の例：関節の過度運動性、有痛性運動制限)	0 1 2 3 4 8 9
	b715	関節の安定性の機能	簡単に脱臼するような関節があるかどうか。(障害の例：不安定な肩関節、股関節脱臼など)	0 1 2 3 4 8 9
	b720	骨の可動性の機能	肩甲骨・骨盤・手根骨・足根骨が動かしやすいかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b730	筋力の機能	麻痺して動かない、または動かしにくい筋があるかどうか。(障害の例：足・手の小筋群の筋力低下、筋の不全麻痺、片麻痺など)	0 1 2 3 4 8 9
	b735	筋緊張の機能	安静時に筋が緊張していないかどうか、他人が筋を動かそうとした場合に抵抗があるかどうか。(障害の例：筋緊張低下、筋緊張亢進、筋痙縮)	0 1 2 3 4 8 9
	b740	筋の持久性機能	筋の収縮を持続することができるかどうか。(障害の例：重症筋無力症と診断されているかどうか)。	0 1 2 3 4 8 9
	b750	運動反射機能	特定の刺激によって自動的に筋の反射が起きるかどうか。(例：痛み刺激を避けようとする動き)	0 1 2 3 4 8 9
	b755	不随意運動反応機能	介助なしに身体の位置・姿勢を直したり、上手にバランスをとることができるかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b760	随意運動の制御機能	床に落ちているものをふらつかずに拾えるかどうか、目をつぶっても同じようにできるかどうか。(障害の例：拮抗運動障害)	0 1 2 3 4 8 9

心身機能		判断のチェックポイント	評価点
神経筋骨格と運動に関する機能	b765	不随意運動の機能 無意識に筋が収縮することによる不随意運動（例：舞蹈病様運動、アテトーゼ、振戦、チック、歯軋り、常同症など）があるかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b770	歩行パターン機能 普通に歩いたり、走ったりすることができるかどうか。（障害の例：痙性歩行、片麻痺歩行、跛行など）	0 1 2 3 4 8 9
	b780	筋・運動機能関連の感覚 筋のこわばり感・突っ張り感・引きつりなどの感覚があるかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
皮膚および関連する構造の機能	b810	皮膚の保護機能 皮膚に損傷・潰瘍・褥瘡がないかどうか。また、色素沈着、肥厚化（たこ）、菲薄化が見られないかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b820	皮膚の修復機能 損傷部位に痂皮（かさぶた）ができて元通りに治癒しているかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b830	その他の皮膚の機能 汗のかきかた、皮脂の分泌が普通かどうか、体臭が強すぎないかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b840	皮膚関連の感覚 かゆみ、灼熱感、ビリビリ感、チクチク感、むずむず感がないかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b850	毛の機能 脱毛部位がないかどうか。	0 1 2 3 4 8 9
	b860	爪の機能 爪の成長・形状・色に異常はないかどうか。	0 1 2 3 4 8 9

## ICFのアンケート記入にあたって

平成16年12月10日

企画研究部 研究係

厚生労働科学研究については、ご協力いただきありがとうございます。  
評価点のつけ方について補足資料を用意しました。参考にしてください。  
今後も必要に応じて資料などを発信していきたいと考えております。

なお、アンケートの締め切りは、1月28日ですので、あわせてよろしく願いいたします。

### <ICF活用の趣旨>

- ① 障害や疾病を持った人やその家族、また、そうした人にサービスを提供する保健・医療・福祉等の幅広い分野の従事者が、これを用いて、障害や疾病の状態などを表現することによって、共通理解を持つこと。
- ② ICFを用いることによって、さまざまな障害者に向けたサービスを提供する施設や機関などで行われるサービスの計画や評価、記録などのために実際的な手段を提供すること。
- ③ 障害者に関するさまざまな調査や統計について、国内はもとより国際的にも比較検討する標準的な枠組みを提供すること。

以上の趣旨から、厚生労働科学研究に活用することになりました。

### <評価点 ならびに 評価基準>

各項目（「活動」「参加」「環境因子」「心身機能」）の回答用紙の上段にある評価点ならびに評価基準、さらに、新たに「共通評価点」を添付したので参照してください。

### <判断のチェックポイントについて>

判断のチェックポイントは一つの目安です。各項目ごとに、いくつかの例示用語が示されています。そのなかの一つでも、当てはまるものがあれば、それで判断をして○をつけてください。例示用語のすべてに当てはめる必要はありません。あまり深く考え込まずに評価してください。

## 《 共 通 評 価 点 》

0：問題なし （なし、存在しない）

1：軽度の問題 （わずかな、低い）

2：中等度の問題 （中程度の、かなりの）

3：重度の問題 （高度の、極度の）

4：完全な問題 （全くの）

8：詳細不明

9：非該当

## 【 活 動 】

「活動」の評価は、「実行状況（支援あり）」と「能力（支援なし）」の2種類あります。  
なお、「能力（支援なし）」の評価については、迷いやすいと思われます。  
その場合は、上記の共通評価点に読み替えてください。

## 【 参 加 】

「参加」の評価は、「実行状況（支援あり）」のみ評価します。

## 【 環 境 因 子 】

「環境因子」の評価は、「阻害因子」（－）と「促進因子」（＋）の2つの視点があります。  
特に「環境因子」については評価しにくい項目です。  
以下の評価基準でも読み替えてください。

### <促進因子>

- +0：促進因子なし（なし、無視できる促進因子）
- +1：軽度の促進因子（わずかな、程度の促進因子）
- +2：中等度の促進因子（中程度の、かなりの促進因子）
- +3：重度の促進因子（高度の、極度の促進因子）
- +4：完全な促進因子（全くの促進因子）
  
- +8：詳細不明の促進因子

### <阻害因子>

- －0：阻害因子なし（なし、無視できる阻害因子）
- －1：軽度の阻害因子（わずかな、程度の阻害因子）
- －2：中等度の阻害因子（中程度の、かなりの阻害因子）
- －3：重度の阻害因子（高度の、極度の阻害因子）
- －4：完全な阻害因子（全くの阻害因子）
  
- －8：詳細不明の阻害因子

9：非該当

これらの基準にそって、「判断のチェックポイント」を参考にして、設問毎に、まずは阻害因子（－）か、あるいは促進因子（＋）のどちらかに○をつけ、次に評価基準を参考にして、0から8の該当する数字に○をつけます。

なお、9：非該当の場合は、数字のみの記入となります。

環境因子は、本人の視点から評価します。また、1つの項目内に両方の因子があると思われる場合は、総合的、全体的に判断し、どちらかにつけます。

◎ご質問・問い合わせ TEL 027-320-1450 FAX 027-320-1368  
E-メール [higuchi@nozomi.go.jp](mailto:higuchi@nozomi.go.jp)（研究係：新井、樋口）



(資料4)

## 二次的障害について

分類1	既往歴・現病歴（アンケートの結果から）	
I	感染症	結核、B型・C型等のウイルス肝炎、脳炎、帯状疱疹、トリコモナス膣炎、カンジダ症、水虫など
II	新生物	悪性腫瘍、子宮筋腫・脂肪種等の良性腫瘍など
III	血液の疾患、免疫機構の障害	貧血、血小板減少性紫斑病、原発性免疫不全症など
IV	内分泌、栄養、代謝疾患	甲状腺機能亢進症、クレチン症、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症など
V	精神、行動の傷害	躁鬱病、情緒不安定、行動障害、睡眠障害など
VI	神経系の疾患	脳性マヒ、てんかん、パーキンソン症候群、筋ジストロフィー、痴呆など
VII	眼、付属器の疾患	盲、中心性網膜炎、緑内障、白内障など
VIII	耳の疾患	聾、難聴、中耳炎など
IX	循環器系疾患	高血圧、低血圧、狭心症、不整脈、閉塞性動脈炎、静脈炎、痔核など
X	呼吸器系の疾患	花粉症、副鼻腔炎、喘息、気管支炎、肺炎など
X I	消化器系の疾患	食道炎、胃潰瘍、肝炎、膵炎、胆嚢炎、胆石、便秘、巨大結腸、そけいヘルニア、腹壁ヘルニア、歯槽膿漏、耳下腺炎など
X II	皮膚、皮下組織の疾患	アレルギー性皮膚炎、光線過敏症、乾皮症など
X III	筋骨格系、結合組織の疾患	膝関節症、関節リウマチ、骨粗鬆症、脊椎すべり症、椎間板ヘルニアなど
X IV	尿路性器系の疾患	腎不全、腎盂炎、膀胱炎、神経因性膀胱、前立腺肥大、乳腺炎など
X VII	先天奇形、変形、染色体異常	心房中隔欠損症、ダウン症、結節性硬化症、多趾症など
X IX	損傷、中毒、その他外因による影響	骨折、脱臼、熱傷

(資料5) 活動(実行)の平均値によるグラフ比較  
 図1-① (のぞみの園とグループホーム)

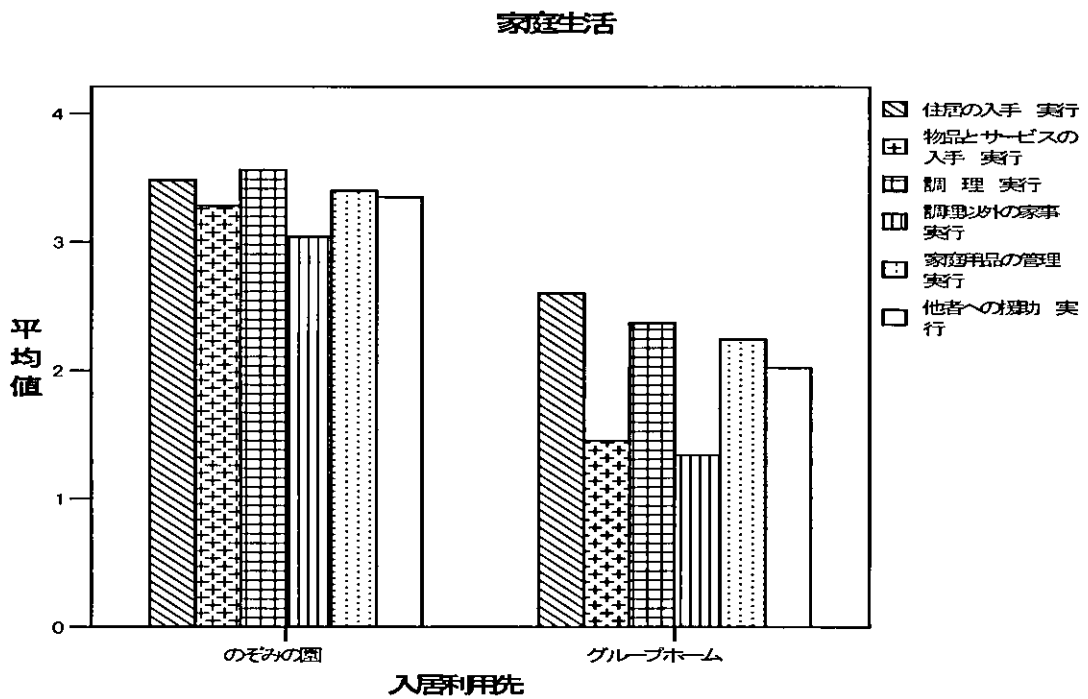
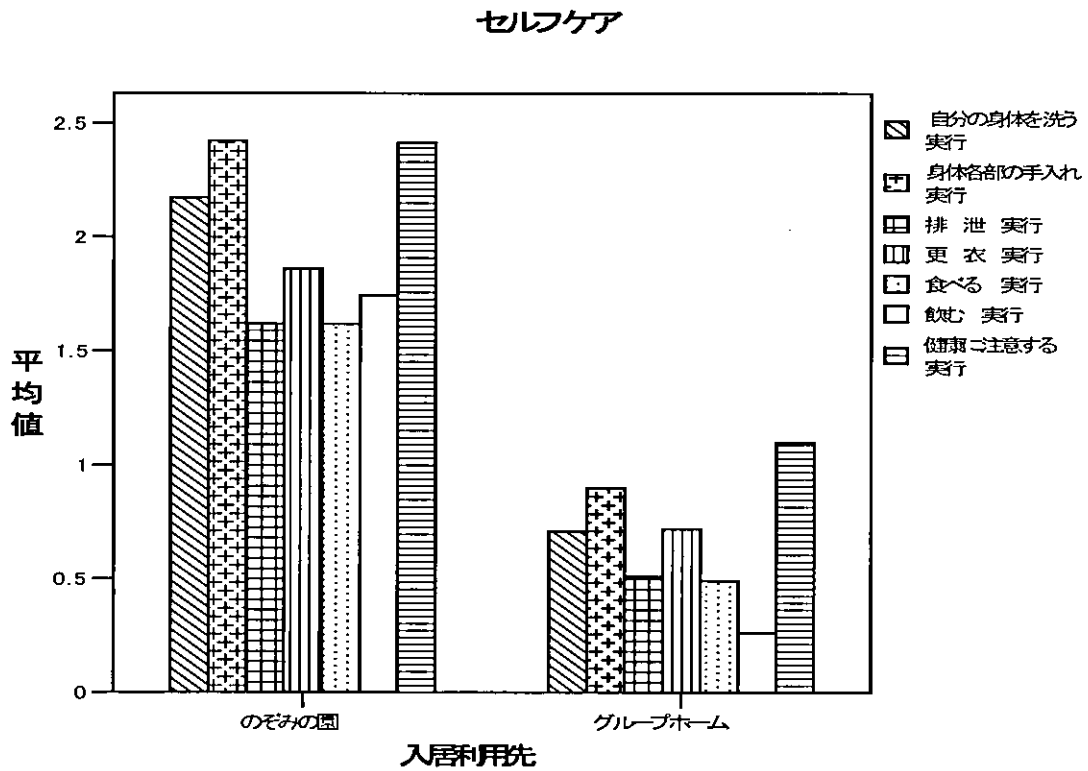


図1-② 活動（実行）の平均値によるグラフ比較  
 (のぞみの園とグループホーム)

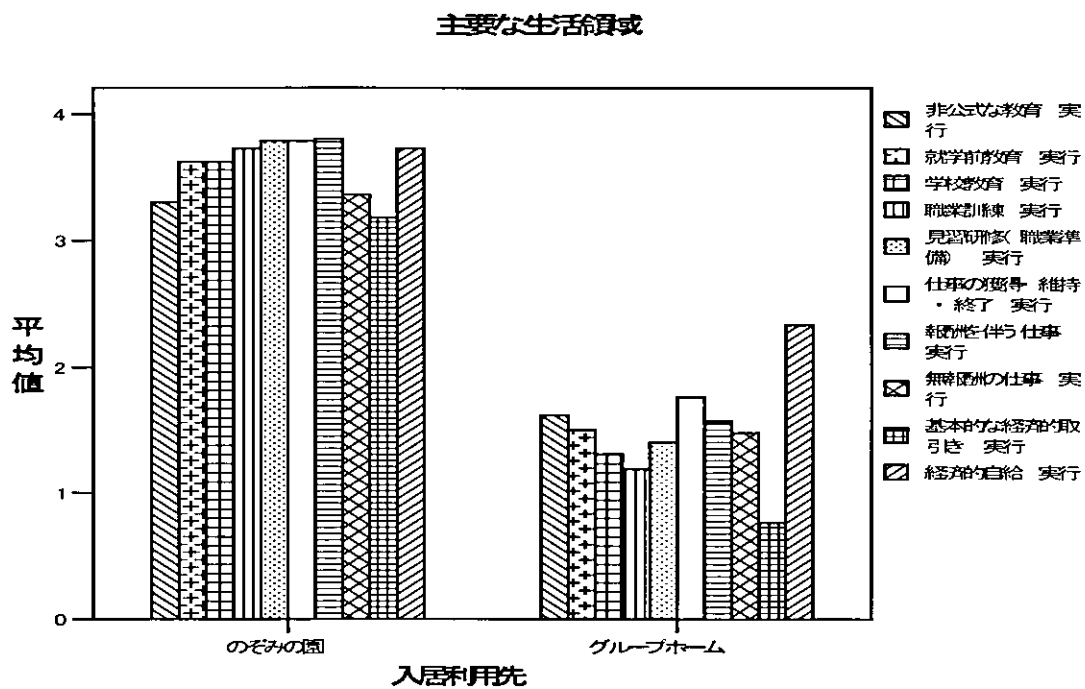
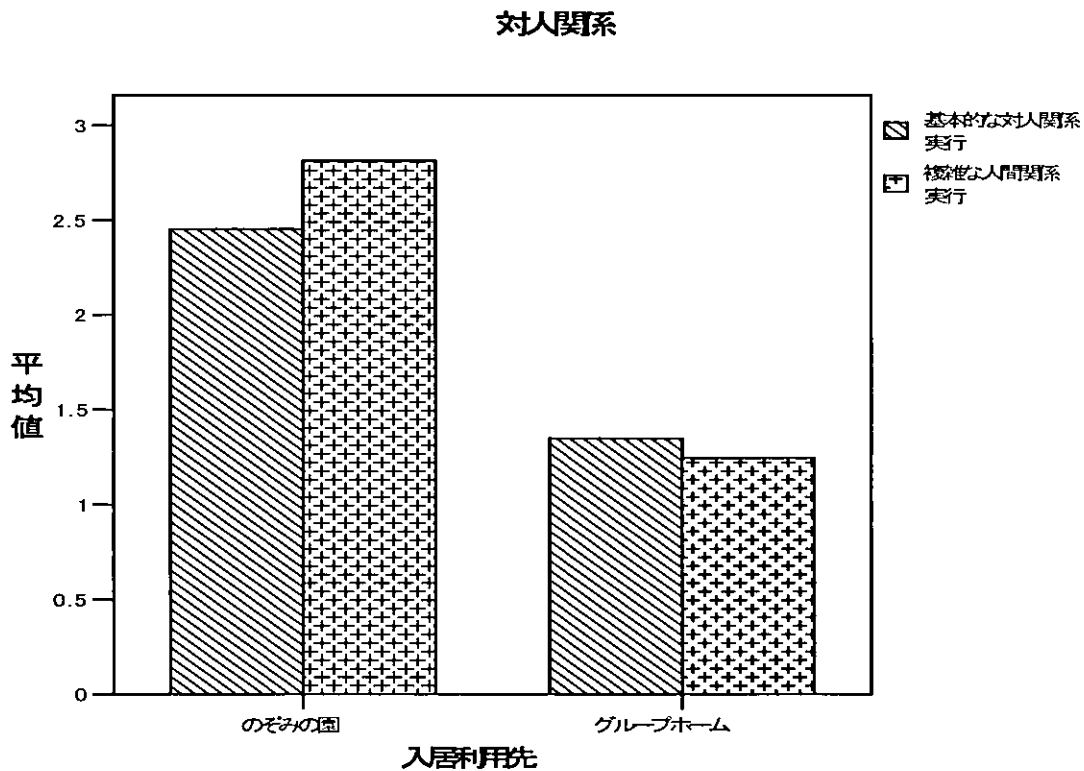


図1-③ 活動（実行）の平均値によるグラフ比較  
（のぞみの園とグループホーム）

